２００６年２月　№５４

みんなで遊ぼう　みんなで学ぼう　　場所ー国分ヶ丘集会所

国分アンビシャス広場だより

AMBITIOUS

国分アンビシャス広場ホームページ
http://www.f-icq.com/ambitious

２月のひろばのある日

日	月	火	水	木	金	土
ー	ー	ー	1	ー	ー	4
ー	ー	ー	8	ー	ー	休
ー	ー	ー	15	ー	ー	18
ー	ー	ー	22	ー	ー	25

水曜日 15時～17時、土曜日 14時～17時

アンビシャス教室（国分ヶ丘集会所）
卓球（14:00～15:30）
　4日、18日、25日
囲碁（10:00～11:30）
　4日、18日、25日
お茶（10:00～11:00）18日

こま記録会アンビシャス広場
２月４日　１５：００～
雨の時はチビごまでやります

広場祭り
３月１８日（13:00～）
国分アンビシャス広場

抹茶教室募集
1ヶ月に1度、お作法の初めの初めを勉強してきました。可愛いお作法は大人にとっても新鮮です。4月から新しい生徒を若干名募集します。3月15日まで広場に申し込んでください。定員になりしだい締め切ります。

子どもたちが安心して体験
できる地域づくりを目指して

子ども達は、いろんな人と出会い、いろんな人にお願いしたり謝ったり、叱られたりしながら社会性を身に付けるそうです。しかし、今は、自動販売機、コンビニと何も言わなくても物が買えて交渉することもありません。そして地域のコミュニティが崩壊しているために誰が安心できる人か区別も出来ません。

広場は、地域の子どもたちが異年齢で知り合えて地域の大人たちとも顔見知りになるところです。多くの地域の皆さんの参加により子どもたちと顔見知りになれば安心できる地域に近づけると思います。

国分アンビシャス広場委員会

地域生活経験の必要性

「地域社会と教育」
－子どもたちの発達と地域社会ー
住田正樹　九州大学教授・教育学博士

子どもは、独立の主体として他人との交渉する機会を喪失したために、他人の行動の意味を理解する解釈過程を経験することがなく、したがって解釈能力と技術的理解の社会化は行なわれないから、他人の立場を理解できず価値や行動様式の多様性の存在を知らない。だから子どもは他人に対する確信ある対処の仕方を知らない。・・・精神医学者の稲村博は、今日の子どもの一般的特徴として、①粘りがなく脆い②わがままで甘ったれ，③敏感で傷つき易い、④孤独、⑤情緒未熟、⑥自己本位で思いやりに乏しい、⑦自主性・独立の欠如、気骨や気概に乏しいことをあげ、こうした傾向は今日の子どもが独立の主体として、他人との交渉の機会を有しなかったこと、地域生活経験の喪失に起因するところが大きい。

国立博物館でこま指導（１月７日）

国分アンビシャス広場の子ども達がこま指導に出かけました。各地から来た子どもたちにこまを教えました。





新春こま記録会（1月14日）

雨のためにチビごまで行ないました、狭い集会所の中で熱戦が繰り広げられました

こま起こし
河野けい君（６歳）が
１０分３７秒０９の大記録をつくりました

手のせ
金子穂香さん（3年）
１１秒６３
難しいチビごまの手のせに成功したのは一人だけでした



未就学児は、ボランティアの目が届きません**保護者同伴**でお願いします

アンビシャス運動は県民運動です

広場についてのお問合せ　℡924-0580
国分アンビシャス広場委員会　藤田彩子